

2015年2月13日

各位

2014年度第3四半期報告



オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(本社:東京都港区、社長:片岡 一則)の2014年度第3四半期決算(2014年4月1日～2014年12月31日)を以下のとおりお知らせします。

1. 契約の状況

◆新契約(個人保険)の状況 (単位:億円、千件)

	2012年度 第3四半期	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期
新契約高	7,645	10,246	13,063
新契約年換算保険料	166	212	248
新契約件数	284	353	409

新契約高は、「収入保障保険キープ」や「定期保険ファインセーブ」の販売が好調であったことや、8月に発売した「終身保険ライズ」が加わったことなどから、前年同期比27.5%増の1兆3,063億円となりました。

新契約年換算保険料は、「医療保険 新キュア」「医療保険 新キュア・レディ」「定期保険ファインセーブ」などの販売増加や「終身保険ライズ」の発売により、前年同期比17.0%増の248億円となりました。

また、新契約件数は、「医療保険 新キュア」「医療保険 新キュア・レディ」の増加や、第一分野商品の販売増加により、前年同期比15.9%増の40万9千件となりました。

◆保有契約(個人保険)の状況 (単位:億円、千件)

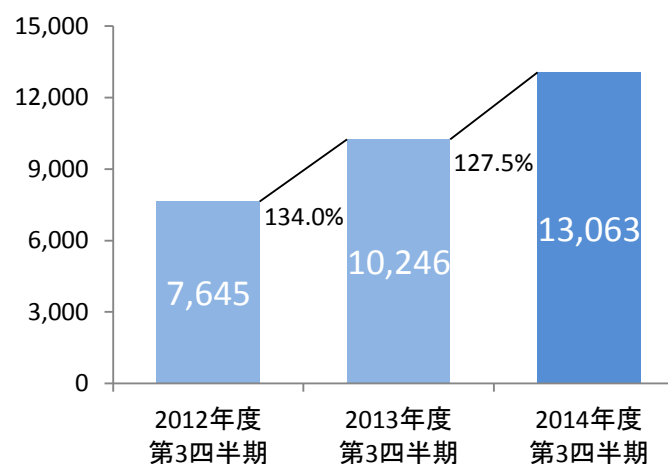
	2012年度末	2013年度末	2014年度 第3四半期末
保有契約高	53,702	63,283	72,343
保有契約年換算保険料	1,224	1,386	1,535
保有契約件数	1,783	2,139	2,435

保有契約高は、第一分野商品の販売が好調に推移したことから、前年度末比14.3%増の7兆2,343億円となりました。

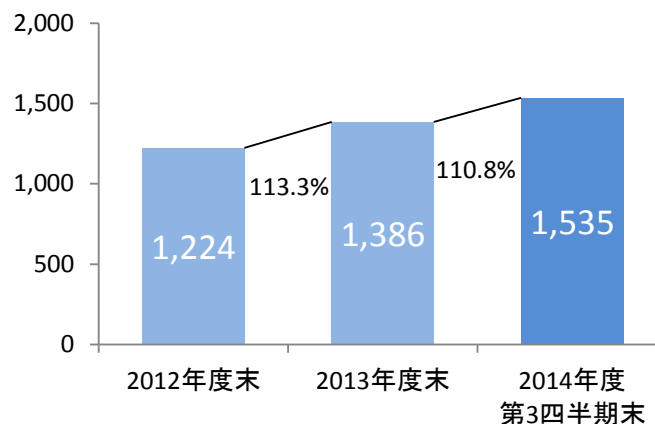
保有契約年換算保険料は、医療保険や第一分野商品などの増加により、前年度末比10.8%増の1,535億円となりました。

保有契約件数は、第三分野商品に加え、第一分野商品も増加し、前年度末比13.8%増の243万5千件となりました。

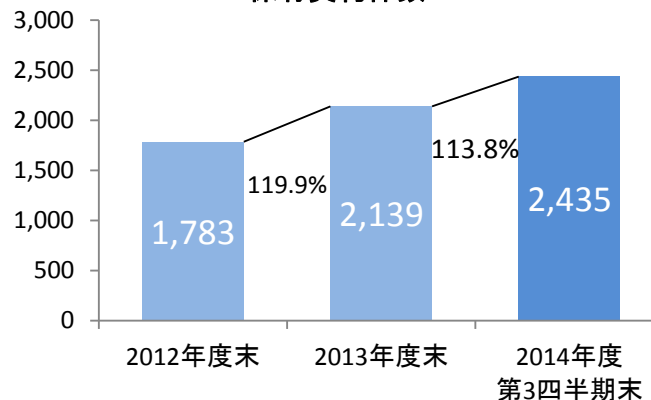
新契約高 (単位:億円)



保有契約年換算保険料 (単位:億円)



保有契約件数 (単位:千件)



2. 収支等の状況

◆収支・利益

(単位:百万円)

	2012年度 第3四半期		2013年度 第3四半期		2014年度 第3四半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険料等収入	95,112	112.2%	106,743	112.2%	125,090	117.2%
資産運用収益	10,002	91.7%	11,679	116.8%	10,617	90.9%
保険金等支払金	48,471	84.8%	49,995	103.1%	50,343	100.7%
資産運用費用	2,774	95.6%	2,757	99.4%	2,900	105.2%
基礎利益	△ 8,917	-	△ 16,072	-	△ 14,404	-
当期純利益	△ 5,690	-	△ 10,355	-	22,038	-
連結当期純利益	-	-	-	-	70,940	-

- ・保険料等収入は、医療保険や定期保険の保有契約が増加したことなどにより、前年同期比17.2%増の1,250億円となりました。
- ・資産運用収益は、有価証券売却益が減少したことなどにより、前年同期比9.1%減の106億円となりました。
- ・保険金等支払金は、解約返戻金支払が減少したものの、医療保険など第三分野商品の保有契約の増加に伴い、給付金支払が増加したことから、前年同期と比べて微増の503億円となりました。
- ・資産運用費用は、前年同期比5.2%増の29億円となりました。
- ・基礎利益は、標準責任準備金の積増負担が減少したことなどにより、前年同期と比べて16億円赤字幅が縮小し、△144億円となりました。
- ・当期純利益は、2014年12月にハートフォード生命保険株式会社(以下「ハートフォード生命」)から利益配当金300億円を受け取ったことなどにより、220億円の黒字となりました。
なお、ハートフォード生命の子会社化に伴い、負ののれん発生益を計上したことなどから、連結当期純利益は709億円となりました。

◆米国会計基準(SEC基準)による主要な経営指標

オリックスグループは、米国会計基準(SEC基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかにSEC基準を採用し、経営管理の指標としています。

(単位:百万円)

	2012年度 第3四半期		2013年度 第3四半期		2014年度 第3四半期		2013年度末
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
営業収益	105,434	106.8%	117,534	111.5%	138,131	117.5%	161,738
保険料収入	94,537	112.3%	105,351	111.4%	122,258	116.0%	146,176
資産運用収益	10,605	79.7%	11,523	108.6%	14,793	128.4%	14,390
その他収益	292	24.3%	661	226.4%	1,081	163.6%	1,172
営業費用	85,966	105.1%	95,045	110.6%	109,884	115.6%	132,515
責任準備金繰入額等	45,837	102.3%	46,583	101.6%	51,215	109.9%	64,833
資産運用費用	2,713	107.6%	2,612	96.3%	2,546	97.5%	3,553
その他費用	37,417	108.5%	45,850	122.5%	56,122	122.4%	64,130
関係会社受取配当金(※)	-	-	-	-	30,000	-	-
税引前当期純利益	19,468	115.3%	22,490	115.5%	58,248	259.0%	29,223
法人税等	5,451	664.7%	6,060	111.2%	8,904	146.9%	9,619
当期純利益	14,017	87.3%	16,430	117.2%	49,343	300.3%	19,604
総資産	628,528	108.0%	692,998	110.3%	848,961	122.5%	732,256
保険契約債務	418,498	104.8%	443,848	106.1%	480,723	108.3%	454,436
株主資本 (払込資本金)	157,484 (40,000)	115.9%	178,535 (40,000)	113.4%	273,529 (59,000)	153.2%	196,973 (47,500)

(※)関係会社受取配当金30,000百万円は、ハートフォード生命からの利益配当金です。

- ・営業収益は、医療保険や定期保険の保有契約が増え、保険料収入が増加したことなどにより、前年同期比17.5%増の1,381億円となりました。
- ・ハートフォード生命からの利益配当金を計上したことから、税引前当期純利益は前年同期比159.0%増の582億円、当期純利益は同200.3%増の493億円となりました。
- ・総資産は、2014年6月に実施した230億円の増資や、2014年12月にハートフォード生命から利益配当金を受け取ったことなどにより、前年度末比1,167億円増の8,489億円となりました。
(SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについては次ページをご参照ください。)

<SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

■新契約の獲得経費

- SEC基準では、新契約の獲得経費は、新契約からもたらされる将来の収入に対応すべき部分を、当期に一括計上せず、繰延処理します。
- 会社法基準では、新契約の獲得経費を当期費用として一括計上します。
- 新契約の販売が好調な時、SEC基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が減少します。

■責任準備金

- SEC基準では、実績発生率を基に計算される責任準備金を積み立てます。
- 会社法基準では、無配当商品に対しても有配当商品と同じ積み立てを行うなど、一般的に、SEC基準と比べて契約初期の積立負担が大きな標準責任準備金を積み立てます。

上記の会計基準の違いにより、当社においては、新契約が急増した場合、会社法基準は一時的に利益が減少する傾向があります。

3. 健全性等の状況

◆健全性・資産等の指標

単体	(単位:億円)		連結	(単位:億円)
	2013年度末	2014年度第3四半期末	2014年度第3四半期末	
ソルベンシー・マージン比率	758.3%	752.4%	2,498.9%	連結ソルベンシー・マージン比率
総資産	6,454	7,504	25,424	連結総資産

- ソルベンシー・マージン比率は、2014年7月のハートフォード生命の全株式取得により資産運用リスクは高まりましたが、2014年6月に230億円の増資をしたこと、また、2014年12月にハートフォード生命から利益配当金を受け取ったことなどにより、ソルベンシー・マージン総額が増加し、前年度末の758.3%から5.9ポイント減少の752.4%とほぼ前年度末と同水準となりました。なお、ハートフォード生命との連結ソルベンシー・マージン比率は、2,498.9%と高水準を確保しています。
- 総資産は、前年度末から1,050億円増加し、7,504億円となりました。また、連結総資産は2兆5,424億円となりました。
- なお、当社は標準責任準備金を積み立てています。

◆格付け(2015年2月13日現在)

- 格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力格付け : A+
- スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け : A-

■オリックス株式会社(コード番号:8591)の2015年3月期第3四半期連結決算(2014年4月~2014年12月)

<http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

オリックスグループの事業は、法人金融サービス・メンテナンスリース・不動産・事業投資・リテール・海外の7つの独立したセグメントで構成され、オリックス生命およびハートフォード生命は、リテール事業部門に位置しています。

■ハートフォード生命の2014年度第3四半期決算

<http://www.hartfordlife.co.jp/>

ハートフォード生命単体の2014年度第3四半期決算につきましては、ハートフォード生命の「2014年度第3四半期業績のお知らせ」をご覧ください。

4. トピックス

2014年3月31日 ・ 2013年度新契約件数が50万件を突破

2014年6月23日 ・ 230億円の増資による資本の強化を実施

2014年7月1日 ・ ハートフォード生命の全株式取得の完了

2014年8月2日 ・ 「終身保険ライズ」を発売、「年金月額上乗特約」の新設により「収入保障保険キープ」をリニューアル

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
経営企画部広報チーム 石井・弘重(ひろしげ) TEL: 03-6683-2105

ハートフォード生命保険株式会社はオリックス生命保険株式会社に譲渡され、現在はThe Hartford Financial Services Group, Inc.又はその関係法人の関連会社ではありません。登録商標であるThe Hartford®、牡鹿のロゴ及びハートフォードを含んだ名称は権利者の許諾を得て使用しています。

<目 次>

1. 主要業績	(1)
2. 資産運用の実績(一般勘定)	(3)
3. 四半期貸借対照表	(6)
4. 四半期損益計算書	(7)
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	(9)
6. ソルベンシー・マージン比率	(10)
7. 特別勘定の状況	(10)
8. 保険会社及びその子会社等の状況	(11)

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2013年度末		2014年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	前年度末比	金 額	前年度末比
個 人 保 険	2,139,265	63,283	2,435,381	113.8	72,343	114.3
個人年金保険	998	26	822	82.4	24	95.3
団 体 保 険	—	4,710	—	—	4,926	104.6
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注)個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2013年度 第3四半期累計期間				2014年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
新契約		転換による 純増加		前年 同期比			新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	353,274	10,246	10,246	—	409,373	115.9	13,063	127.5	13,063	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	3	3	—	—	—	—	0.0	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2013年度末	2014年度 第3四半期 会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	138,651	153,581	110.8
個 人 年 金 保 険	627	547	87.1
合 計	139,279	154,128	110.7
うち医療保障・ 生前給付保障等	87,276	96,355	110.4

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2013年度 第3四半期 累計期間	2014年度 第3四半期 累計期間	前年同期比
個 人 保 険	21,266	24,885	117.0
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	21,266	24,885	117.0
うち医療保障・ 生前給付保障等	14,309	15,250	106.6

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2013年度末		2014年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	18,120	2.8	37,236	5.0
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	21,517	3.3	79,143	10.5
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	465,983	72.2	498,376	66.4
公 社 債	437,255	67.7	329,024	43.8
株 式	56	0.0	89,618	11.9
外 国 証 券	15,491	2.4	67,346	9.0
公 社 債	15,491	2.4	67,346	9.0
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	13,180	2.0	12,385	1.7
貸 付 金	17,888	2.8	10,169	1.4
不 動 産	90,290	14.0	90,094	12.0
繰 延 税 金 資 産	3,089	0.5	1,440	0.2
そ の 他	29,940	4.6	34,723	4.6
貸 倒 引 当 金	△ 1,427	△ 0.2	△ 752	△ 0.1
合 計	645,402	100.0	750,431	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	12,397	1.9	65,155	8.7

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2013年度末					2014年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	95,299	102,607	7,308	7,308	—	95,190	110,936	15,745	15,745	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	366,407	370,678	4,271	4,471	199	368,842	379,629	10,787	10,819	31
公 社 債	339,743	341,956	2,212	2,405	193	228,549	233,834	5,284	5,316	31
株 式	50	50	△0	4	5	50	71	20	20	—
外 国 証 券	15,356	15,491	134	134	—	64,814	67,346	2,531	2,531	—
公 社 債	15,356	15,491	134	134	—	64,814	67,346	2,531	2,531	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	11,256	13,180	1,924	1,925	1	9,435	12,385	2,950	2,950	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	65,991	65,991	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	461,706	473,286	11,580	11,779	199	464,032	490,565	26,532	26,564	31
公 社 債	435,042	444,563	9,521	9,714	193	323,740	344,770	21,029	21,061	31
株 式	50	50	△0	4	5	50	71	20	20	—
外 国 証 券	15,356	15,491	134	134	—	64,814	67,346	2,531	2,531	—
公 社 債	15,356	15,491	134	134	—	64,814	67,346	2,531	2,531	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	11,256	13,180	1,924	1,925	1	9,435	12,385	2,950	2,950	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	65,991	65,991	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。
(単位：百万円)

区 分	2013年度末	2014年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他の	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	89,541
その他の有価証券	5	5
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	5	5
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	0	—
その他	—	—
合 計	5	89,547

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

- ・運用目的の金銭の信託

該当ありません。

- ・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	2013年度末 要約貸借対照表 (2014年3月31日現在)	2014年度 第3四半期会計期間末 (2014年12月31日現在)
	金 額	金 額
(資 産 の 部)		
現 金 及 び 預 貯 金	18,120	37,236
買 入 金 銭 債 権	21,517	79,143
有 価 証 券	465,983	498,376
(うち 国 債)	(340,543)	(230,001)
(うち 地 方 債)	(1,789)	(2,836)
(うち 社 債)	(94,922)	(96,186)
(うち 株 式)	(56)	(89,618)
(うち 外 国 証 券)	(15,491)	(67,346)
貸 付 金	17,888	10,169
保 険 約 款 貸 付	5,487	5,255
一 般 貸 付	12,401	4,913
有 形 固 定 資 産	90,442	90,300
無 形 固 定 資 産	3,388	4,032
代 理 店 貸 貸	65	70
再 保 険 貸 貸	354	148
そ の 他 資 産	25,755	29,931
前 払 年 金 費 用	198	317
繰 延 税 金 資 産	3,089	1,440
支 払 承 諾 見 返 金	25	17
貸 倒 引 当 金	△ 1,427	△ 752
資 産 の 部 合 計	645,402	750,431
(負 債 の 部)		
保 険 契 約 準 備 金	610,840	663,136
支 払 備 金	17,840	18,151
責 任 準 備 金	592,182	644,332
契 約 者 配 当 準 備 金	817	652
再 保 険 借 債	264	262
そ の 他 負 債	11,660	14,510
未 払 法 人 税 等	56	38
そ の 他 の 負 債	11,604	14,471
価 格 変 動 準 備 金	1,840	2,050
支 払 承 諾	25	17
負 債 の 部 合 計	624,631	679,976
(純 資 産 の 部)		
資 本 金	47,500	59,000
資 本 剰 余 金	33,704	45,204
資 本 準 備 金	33,704	45,204
利 益 剰 余 金	△ 63,390	△ 41,216
そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 63,390	△ 41,216
繰 越 利 益 剰 余 金	△ 63,390	△ 41,216
株 主 資 本 合 計	17,813	62,988
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,956	7,466
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	2,956	7,466
純 資 産 の 部 合 計	20,770	70,454
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	645,402	750,431

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科目	2013年度 第3四半期累計期間 〔2013年4月1日から 2013年12月31日まで〕	2014年度 第3四半期累計期間 〔2014年4月1日から 2014年12月31日まで〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	118,916	136,319
保 険 料 等 収 入	106,743	125,090
(うち 保 険 料)	(106,489)	(124,617)
資 産 運 用 収 益	11,679	10,617
(うち 利 息 及 び 配 当 金 等 収 入)	(7,990)	(8,447)
(うち 有 価 証 券 売 却 益)	(3,466)	(1,676)
そ の 他 経 常 収 益	494	611
経 常 費 用	132,629	150,253
保 険 金 等 支 払 金	49,995	50,343
(うち 保 険 金)	(9,955)	(9,554)
(うち 年 金)	(719)	(723)
(うち 給 付 金)	(10,807)	(13,940)
(うち 解 約 返 戻 金)	(26,971)	(23,944)
(うち そ の 他 返 戻 金)	(1,048)	(1,550)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	44,502	52,461
支 払 備 金 繰 入 額	368	311
責 任 準 備 金 繰 入 額	44,133	52,149
資 産 運 用 費 用	2,757	2,900
(うち 支 払 利 息)	(1)	(2)
(うち 有 価 証 券 売 却 損)	(334)	(0)
(うち 有 価 証 券 評 価 損)	(1)	(0)
(うち 金 融 派 生 商 品 費 用)	—	(78)
事 業 費 用	32,555	40,273
そ の 他 経 常 費 用	2,819	4,275
経 常 損 失	13,713	13,934
特 別 利 益	—	34,119
固 定 資 産 等 処 分 益	—	4,119
関 係 会 社 受 取 配 当 金	—	30,000
特 別 損 失	62	218
固 定 資 産 等 処 分 損	2	8
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	60	210
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	527	601
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	△ 14,302	19,365
法 人 税 及 び 住 民 税	△ 3,618	△ 2,316
法 人 税 等 調 整 額	△ 328	△ 357
法 人 税 等 合 計	△ 3,947	△ 2,673
四 半 期 純 利 益 (△は 四 半 期 純 損 失)	△ 10,355	22,038

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2014年度第3四半期会計期間末

1. 会計上の変更、過去の誤謬の訂正

第1四半期会計期間より、「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号)に基づき、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準に変更しております。これに伴い、当第3四半期会計期間の期首の利益剰余金が135百万円増加しております。また、当第3四半期累計期間の経常損失は6百万円減少しており、税引前四半期純利益は6百万円増加しております。

2. 四半期特有の会計処理

貸倒引当金の算定方法

貸倒引当金は、次のとおり計上しております。

破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。上記以外の債権については、当上半期末の貸倒実績率を基礎として、合理的な範囲内で調整を加えた貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	817百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	766百万円
ハ. 契約者配当準備金繰入額	601百万円
ニ. 当第3四半期会計期間末現在高	652百万円

4. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年6月23日付で、オリックス株式会社から株主割増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が11,500百万円、資本準備金が11,500百万円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が59,000百万円、資本準備金が45,204百万円となっております。

5. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2014年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は、11,471円61銭であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	2013年度 第3四半期 累計期間	2014年度 第3四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 16,072	△ 14,404
キャピタル収益	3,466	1,676
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	3,466	1,676
金融派生商品収益	—	—
為替差益	0	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	335	418
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	334	0
有価証券評価損	1	0
金融派生商品費用	—	78
為替差損	—	339
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	3,130	1,257
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 12,941	△ 13,146
臨時収益	39	229
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	39	229
その他臨時収益	—	—
臨時費用	811	1,017
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	811	1,017
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 771	△ 787
経常利益 A+B+C	△ 13,713	△ 13,934

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2013年度末	2014年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	58,897	156,958
資本金等	17,813	62,988
価格変動準備金	1,840	2,050
危険準備金	6,816	7,834
一般貸倒引当金	267	49
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	3,844	9,708
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	1,843	1,477
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	78,630	90,353
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び 負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 52,159	△ 17,491
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	△ 11
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	15,533	41,717
保険リスク相当額 R1	3,970	4,523
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	2,852	3,317
予定利率リスク相当額 R2	1,506	1,488
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	11,773	38,037
経営管理リスク相当額 R4	603	1,421
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	758.3%	752.4%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位:百万円)

項目	2013年度 第3四半期 連結累計期間	2014年度 第3四半期 連結累計期間
経常収益	—	644,431
経常損失	—	1,364
四半期純利益	—	70,940
四半期包括利益	—	83,485

項目	2013年度末	2014年度 第3四半期連結会計期間末
総資産	—	2,542,477
ソルベンシー・マージン比率	—	2,498.9%

(2) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結される子会社及び子法人等数	1社
持分法適用の非連結の子会社及び子法人等数	0社
持分法適用の関連法人等数	0社
期中における重要な子会社等の異動について	ハートフォード生命保険株式会社を新たに連結される連結子会社及び子法人等としております。

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2013年度末	2014年度
		要約連結貸借対照表 (2014年3月31日現在)	第3四半期連結会計期間末 (2014年12月31日現在)
		金 額	金 額
(資産の部)			
現金及び預貯金	債権	—	108,274
入金金の債権	債権	—	79,143
貸付金の債権	債権	—	192,998
有形固定資産	債権	—	1,756,448
有形固定資産	債権	—	10,443
代再その退職給付に係る資産	債権	—	90,586
再その退職給付に係る資産	債権	—	5,386
再その退職給付に係る資産	債権	—	70
再その退職給付に係る資産	債権	—	234,629
再その退職給付に係る資産	債権	—	61,956
再その退職給付に係る資産	債権	—	115
再その退職給付に係る資産	債権	—	3,159
再その退職給付に係る資産	債権	—	17
再その退職給付に係る資産	債権	—	△ 752
資産の部合計		—	2,542,477
(負債の部)			
保険契約準備	負債	—	2,386,010
支払準備	負債	—	36,118
責任準備	負債	—	2,349,240
契約者配当準備	負債	—	652
代理店借借	負債	—	13
再その退職給付に係る負債	負債	—	1,520
再その退職給付に係る負債	負債	—	25,127
再その退職給付に係る負債	負債	—	394
再その退職給付に係る負債	負債	—	2,204
再その退職給付に係る負債	負債	—	17
負債の部合計		—	2,415,288
(純資産の部)			
資本金		—	59,000
資本剰余金		—	45,204
利益剰余金		—	7,685
株主資本合計		—	111,889
その他有価証券評価差額金		—	15,481
退職給付に係る調整累計額		—	△ 182
その他の包括利益累計額合計		—	15,299
純資産の部合計		—	127,189
負債及び純資産の部合計		—	2,542,477

(4) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科 目	期 別	2013年度 第3四半期連結累計期間 〔2013年4月1日から 2013年12月31日まで〕	2014年度 第3四半期連結累計期間 〔2014年4月1日から 2014年12月31日まで〕
		金 額	金 額
経常収益		—	644,431
保険料等収入		—	127,641
資産運用収益		—	163,354
(うち利息及び配当金等収入)		(—)	(8,731)
(うち有価証券売却益)		(—)	(2,344)
(うち特別勘定資産運用益)		(—)	(151,633)
その他経常収益		—	353,435
経常費用		—	645,795
保険金等支払金		—	536,866
(うち保険金)		(—)	(32,697)
(うち年金)		(—)	(24,409)
(うち給付金)		(—)	(120,408)
(うち解約返戻金)		(—)	(323,517)
責任準備金等繰入額		—	52,461
支払準備金繰入額		—	311
責任準備金繰入額		—	52,149
資産運用費用		—	7,611
(うち支払利息)		(—)	(10)
(うち金銭の信託運用損)		(—)	(4,679)
(うち有価証券売却損)		(—)	(2)
(うち有価証券評価損)		(—)	(0)
事業費		—	43,563
その他経常費用		—	5,292
経常損失		—	1,364
特別利益		—	73,332
固定資産等処分益		—	4,119
負ののれん発生益		—	69,212
特別損失		—	269
固定資産等処分損		—	10
価格変動準備金繰入額		—	250
その他特別損失		—	9
契約者配当準備金繰入額		—	601
税金等調整前四半期純利益		—	71,096
法人税及び住民税等		—	△ 8,345
法人税等調整額		—	8,501
法人税等合計		—	156
少数株主損益調整前四半期純利益		—	70,940
四半期純利益		—	70,940

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科 目	期 別	2013年度 第3四半期連結累計期間 〔2013年4月1日から 2013年12月31日まで〕	2014年度 第3四半期連結累計期間 〔2014年4月1日から 2014年12月31日まで〕
		金 額	金 額
少数株主損益調整前四半期純利益		—	70,940
その他の包括利益		—	12,544
その他有価証券評価差額金		—	12,524
退職給付に係る調整額		—	20
四半期包括利益		—	83,485
親会社株主に係る四半期包括利益		—	83,485

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

2014年度第3四半期連結会計期間末

1. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当連結会計期間期首現在高	817百万円
ロ. 当第3四半期連結累計期間契約者配当金支払額	766百万円
ハ. 契約者配当準備金繰入額	601百万円
ニ. 当第3四半期連結会計期間末現在高	652百万円

2. 株主資本の金額の著しい変動

親会社は、平成26年6月23日付で、オリックス株式会社から株主割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が11,500百万円、資本準備金が11,500百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が59,000百万円、資本準備金が45,204百万円となっております。

3. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

2014年度第3四半期連結累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は、36,925円94銭であります。

2. 当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（賃貸用不動産等減価償却費を含む）は2,373百万円、負ののれん発生益は69,212百万円であります。

3. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(5) 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2013年度末	2014年度 第3四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	—	263,567
資本金等	—	111,889
価格変動準備金	—	2,204
危険準備金	—	22,276
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	—	49
その他有価証券の評価差額 × 90% (マイナスの場合100%)	—	20,128
土地の含み損益 × 85% (マイナスの場合100%)	—	1,477
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	—	△ 182
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	94,167
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	—	11,555
リスクの合計額 $\sqrt{\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8^2 + R_9^2} + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	—	21,094
保険リスク相当額 R1	—	4,523
一般保険リスク相当額 R5	—	—
巨大災害リスク相当額 R6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	—	3,317
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R9	—	—
予定利率リスク相当額 R2	—	1,813
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	—	17,189
経営管理リスク相当額 R4	—	536
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	—	2,498.9%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。